



3.11から10年、 防災の今を考える

日時：令和3年**11月21日(日)** 13:30~16:00

会場：富山大学五福キャンパス経済学部201講義室(富山市五福3190)

定員：**80名** (事前申込制)

コーディネーター：原 隆史 (富山大学都市デザイン学部・教授)

**入場
無料**

● 本セミナーについて

3.11から早10年、テレビや新聞でも多くの特集が組まれましたが、大切なのは【大きな災害が起こり得ることを忘れてはならない】ことではないでしょうか。そこで今回のセミナーでは、“北陸における災害リスク”を知るという観点、そして“我々に必要な心構え”を知る観点からお二人の先生に講演いただき、防災の今について考えていきます。

講演 1

「地震被害と地形・土質条件の関連性—あなたの街の災害リスク—」

小嶋 啓介 (福井大学学術研究院工学系部門建築建設工学講座・教授)

射水平野や福井平野は約6千年前の縄文海進の時代には水没しており、平野の表層は新しく堆積した軟弱地盤で形成され標高も低いことから、地震や水害のリスクが高いといえます。はじめに福井地震の被害の概要を示し、平野の形成過程と微地形分布ならびに被害との関連性を考えます。次いで、地震被害を決める要因、特に軟弱地盤による地震動の増幅について説明し、来場者自身の住まいの地震ならびに水害などの災害リスクを確認してもらい、災害に対する心構えを再認識して頂きます。

講演 2

「災害を忘れないために」

小林 俊一 (金沢大学理工研究域地球社会基盤学系・准教授)

「天災は忘れた頃にやってくる」。これは物理学者で随筆家の寺田寅彦の言葉とされています。大きな災害に遭わずに過ごせるのが良いに決まっていますが、一生遭遇しない保証はありません。もし遭遇したらどうしたらよいのでしょうか。大地震、大津波、土砂災害など、大多数の人にとって未知の体験である大規模な自然災害を身近に感じてもらうため、日頃から大学生に講義する中で心掛けている取り組みを紹介します。

●会場の案内

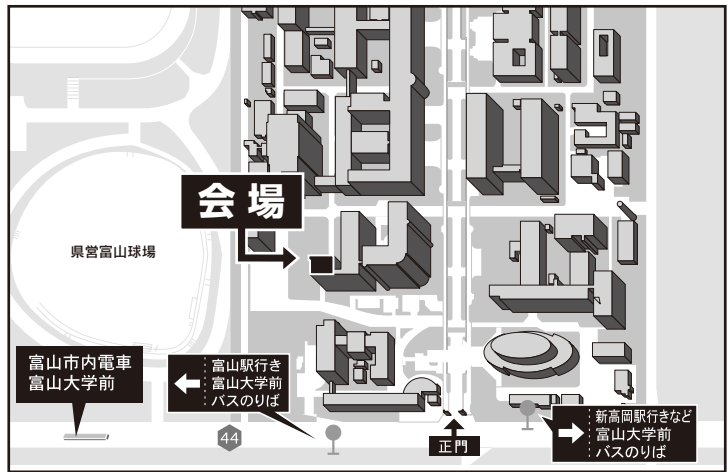
富山大学経済学部講義棟2階 201 講義室

交通案内

JR 富山駅から

- ・市内電車「富山大学前」行き…約 15 分
「富山大学前」下車
- ・バス「新高岡駅」「小杉駅前」
「富大附属病院循環」行きなど…約 10 分
「富山大学前」下車

※公共交通機関を利用くださるようお願いいたします。



受講対象 高校生以上

受講定員 80名

参加費 無料

申込方法 事前申込が必要です。申込フォームに必要事項をご記入の上、申し込みください。
<https://forms.gle/XB4yX8KLQ9fKStq89>



申込期限 11月12日（金）

ただし、定員に達した時点で締め切ります。

その他 新型コロナウイルス感染防止対策のため、受講時は次のことを厳守願います。

- ・マスクの着用をお願いします。
- ・設置されているアルコール消毒液で手指消毒を行ってください。
- ・発熱等風邪の症状がみられるときは、受講を控えてください。
- ・受付時に非接触型体温計にて検温します。37.5 度以上の方は、受講を控えてもらいます。
- ・受付の際は、ソーシャルディスタンスを確保のうえお並びください。
- ・ソーシャルディスタンスのため、座席は十分離しております。また、換気のため、窓等を開けますので、ご協力願います。

※インターネットが利用いただけない場合は、下記申込書に必要事項をご記入の上、郵送でお申し込みください。

●4大学連携まちなかセミナー（富山会場）受講申込書

お名前	フリガナ	電話番号	
		メールアドレス	
ご住所	〒 ー		

記載いただいた個人情報は、今後生涯学習部門が実施する事業等の案内及び感染等の緊急事態にのみに使用し、その他の目的では利用しません。

●申込先 富山大学 地域連携推進機構 生涯学習部門

住 所：930-8555 富山市五福 3190

T E L：076-445-6956 メール：lifelong@ctg.u-toyama.ac.jp